

## いま、障害者雇用を進めよう！！開催要綱

～ 障害者雇用の課題と労働組合の役割を考える ～

### 1. 目 的

障害者施策の基本的視点は、本来、障害の有無に関わりなく誰もがともに学び、ともに育ち、ともに暮らし、そして、ともに働くことが「ノーマル（普通）」であるとする「ノーマライゼーション理念」に基づくものである。

また、この理念では、「障害者や高齢者といった一部の人のびとを排除する社会は、弱くもろい社会であり、文化的に低い社会である。」としている。

しかし、これまでの社会は、障害のある人が、障害のない人と同様な機会を保障されてきたとは言えない。そこには、障害者の社会参加を阻む多くの障壁が存在している。

こうした障害者の現状を変えるための国際的なルールである「障害者の権利条約」は、今年5月に発効し、現在、日本政府は、この批准に向けた作業を進めている。

そして、北海道議会においては、障害児・者が暮らしやすい北海道づくりを目指す条例を策定するための議論が始まっている。

本フォーラムでは、こうした現状を踏まえ、障害者にとって大きな課題のひとつである、「雇用・労働」について障害者を取り巻く現状と課題を検証し、ともに働く職場や地域づくりを進めるために、いま、私たちは何をすべきか、何ができるのか、ともに考え行動していくことを目的として開催する。

2 主 催 日本労働組合総連合会北海道連合会（連合北海道）

3 共 催 （特非）札幌・障害者活動支援センターライフ  
（特非）ホップ障害者地域生活支援センター  
DPI 北海道ブロック会議

4 協 力 北海道移送・移動サービス連絡会（STネット北海道）

5 日 時 2008年 8月 3日（日）13：00～15：30

6 会 場 ライフポート札幌 ライフポートホール

7 定 員 500人（定員になり次第、締め切ります。）

### 8 プログラム

12：30 開 場

13：00 開 会

司会：連合北海道組織労働局次長 宮 本 孔 子

主催者挨拶 連合北海道会長 高 柳 薫

来賓挨拶 民主党・道民連合 障がい児・者の権利擁護条例検討 PT

13:20

記念講演：千葉県の障害者差別をなくす研究会に企業として参加して

大里綜合管理株式会社 代表取締役社長 野 老 真理子 氏  
(千葉県障害者差別をなくす研究会委員)

14:00 シンポジウム：障害者雇用を進めるために

シンポジスト

社会福祉法人 北海道光生会統括施設長 高 橋 一 裕 氏

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

事務局長 石 澤 利 巳

北海道中小企業家同友会札幌支部

障害者問題委員会副委員長 佐 渡 康 則 氏  
(（株）北海道ビジネスアカデミー専門学院 代表取締役)

連合北海道組織労働局長

松 浦 俊 一

コメンテーター

大里綜合管理株式会社 代表取締役社長 野 老 真理子 氏

コーディネーター

DPI 北海道ブロック会議議長

西 村 正 樹

15:30 閉 会

## 9 問い合わせ先

日本労働組合総連合会北海道連合会（連合北海道） 組織労働局 皆川・宮本  
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目1-11 ほくろうビル6階  
TEL: 011-210-0050 FAX: 011-272-2255・011-281-3353